

港南造形タイムズ

第54号



ワクワク 出前授業

12月17日(火)陶芸 12月18日(水)染織



■日本工芸協会にご協力いただきました

「出前授業は」今年で4年目となる日本工芸協会との連携行事です。主に部活動部員と3年生の分野専攻生が集まり、日本工芸協会に所属しておられる「技の匠」から、その技・テクニックをじっくり観察させていただいて学びました。

恒例となった行事ですが、大変有意義な体験をありがとうございました。

参加生徒の感想より

【陶芸】

私は、ロクロの壺のひき方を教えていただき、自分で成長の度合いが分かるくらい上達しました。今まで自分ひとりで練習していた時は、これでできているのかもよくわからない状態で、土に振り回されていました。今回教えていただいたことで、かなり土と仲良くなれました。これからはもっと大きな壺をひきたいし、自分の思うような形をひけるようになりたいという新たな目標ができました。教えていただいてありがとうございました。

(3年5組 青木紅瑠美)



【染織】

とても貴重な体験をさせていただきました。絞り染めを輪ゴムやビニールテープを使ってやったことはありますが、本格的にやるのは今回が初めてです。とても繊細で難しかったです。ぜひ再チャレンジをしたいと思います。参考作品の並縫いがとてもきれいでしたので、次は私も細かく並縫いすることを目標にしたいです。
(3年3組 信川 菜都美)



生地が絹を使っていて染上りがすごくきれいでした。家に帰って糸を外すのが楽しみです。貴重な体験ができてよかったです。
(3年5組 佐竹 萌)



縫って縛って模様を出す本格的な方法が学べて楽しかったです。制作の幅が広がりました。このように伝統工芸が学べる機会がありとても幸せです。
(3年2組 岩淵 咲枝)

細かく並縫いしていたら時間が無くなり、焦って雑になってしまったのが残念です。染料でシャブシャブ染めるのは楽しかったです。
(3年3組 松田 朋子)



【校長より】

日本工芸協会の皆様、研ぎ澄まされた技術の凄みを教えていただき感謝いたします。日本文化の奥深さや日本人の細やかな感性は、時代や国の違いを超えて世界中の人々に感動を与えているものです。生徒たちが日本の文化や伝統工芸、美術品に興味をもち、長年にわたって培われてきた技の凄みを体験させていただくことは、日本人としての誇りをもった国際人として育っていく第一歩だと思っております。

今後とも、この貴重な体験事業の継続をお願いし、校長よりの謝辞といたします。

